

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23404	保育の基礎講座 Introduction to Nursing	小田 良枝	専門	2	選択	1年後期
科目の概要						
小児の栄養を考える時、保育の現場について理解することは、重要なことであると考えられる。乳幼児期の実際の生活を見ること、特徴を知ることにより、広く理解ができるように、意識を深める。保育施設や保育者の役割、援助の方法などを学修する。						
学修内容			到達目標			
① 乳幼児の生活文化、食文化を理解する。 ② 乳幼児の特徴、「保育」の意味を考える。 ③ 保育関連の施設を知る。 ④ 保育者の役割、援助の方法を学ぶ。 ⑤ 食育の意味、重要性を考える。			① 乳幼児の生活文化、食文化を具体的に理解する。 ② 心身の発達の特徴をふまえ、「養護と教育」を理解する。 ③ 保育関連の施設の実態を理解する。 ④ 「かかわる、うけとめる」など保育用語を覚える。 ⑤ 食育の意味、重要性を知ることが出来たか確認する			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	一度決めたことは最後までやりきることができる。				
考え抜く力	課題発見力	現代の子育て状況を理解し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ発表の際聞き手に分かりやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)話すポイントが整理され発表できる。				
	傾聴力	グループワークで人の意見を受容し、さらに自分の意見を述べる事ができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
参考文献:保育原理、小児栄養、食物アレルギーの基礎と対応						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:栄養教育実習、栄養士学外教育実習指導、食物アレルギーの医学・基礎と対応 資格との関連:栄養士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと ・講義中に小テストをするので、欠席の場合、減点対象となる			・乳幼児の成長に関わる大人(人的環境)としての自覚を持ち授業に臨むこと。 ・授業中の私語は周囲の迷惑となるので慎むこと。携帯電話は電源を切りカバンの中に入れておくこと。 ・各週授業終了後シラバスに記載されている予習・復習内容を指示されなくても各自ノートに記述しておくこと。(記述していない場合は減点対象)			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
レポート	40	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	30	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
その他		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		✓

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルに加え、S:社会人基礎力のうち7修得できている。A:社会人基礎力が6修得できている。</p> <p>①「保育」の意味をよく理解し、説明ができる。</p> <p>②乳幼児の心身の発達および保育方法が説明できる。</p> <p>③食育で育てたい力(幼児期の食育の目標)が理解し、説明ができる。</p> <p>④食育は、知育・徳育・体育の基礎であるという意味を理解し、説明ができる。</p>	<p>到達レベルに加え、B:社会人基礎力のうち4修得できている。C:社会人基礎力のうち2修得できている。</p> <p>①「保育」の意味が理解できている。</p> <p>②乳幼児の心身の発達および保育方法を、理解しようと努力する態度がある。</p> <p>③幼児期の食育の目標が理解できている。</p> <p>④食育は栄養教育ではないという意味を理解できている</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 授業の目的、進め方などの説明 ・食育と保育について学修する。	講義 ・オリエンテーション	食育と保育の意味、繋がりが記述できる。	プリント①(予習)「保育所・幼稚園の歴史」	90	主体性 傾聴力
2週 /	保育所・幼稚園の歴史を学ぶ 保育所保育指針・幼稚園教育要領について学修する。	講義 ・グループ活動(グループ活動のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育所・幼稚園の歴史を学び、違いについて記述できる。	(予習)・授業で渡したプリントを読む。(保育所保育指針・幼稚園教育要領の目的を調べる)(復習)保育所と幼稚園の違いを調べる	90	主体性 実行力
3週 /	保育の意義と社会的責任について学修する。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	養護と教育の一体性、乳幼児の発達過程に 応じた保育について記述できる。 保育園見学の視点が記述できる。	プリント②「養護と教育の一体性」 (予習)「養護と教育の一体性」養護と教育について自己の表現でまとめる。 (復習)保育の意義・社会的責任について考えをまとめる。	90	課題発見力 実行力
4週 /	子ども理解① 保育の現場を見学し、保育について学修する。献立表をみて保育園の食事について学修する。	演習 ・保育園見学	保育園見学を通して日常の生活、遊び、食事などの保育内容が理解できる。	プリント③・「献立表」(予習)献立表を見て気づいた事を5点まとめる。 (復習)保育園見学観記録を記述する。	90	課題発見力
5週 /	子ども理解② 子どもの遊びと文化を知る。	講義 ・グループ討議 結果提出 ・前々週の講義内容をフィードバックする。	前週で学んだ内容を念頭に伝承遊び・児童文化が子どもにとってどのような良い影響があるのか自己の考えをまとめることができる。	プリント④・育てたい「食べる力」について (予習)配布プリントを読み、子どもが食べたいと思える環境を3つ考える (復習)翌週小テストを行うので覚える。	90	傾聴力 発信力
6週 /	園生活の1日の流れと保育者の役割を考える。	講義 ・グループ活動 ・小テスト ・前週の講義内容をフィードバックする。	「保育は過程である」この言葉の意味を自分の言葉で記述できる。	プリント⑤・「園の日課表」 (予習)日課表を見て気づいたことを5点まとめる。 (復習)まとめのレポートのサブタイトルを考える	90	主体性
7週 /	保育の方法・環境① 自然環境 野菜づくりの意味、大切さを考えてみる。	講義 ・グループ活動(グループ討議のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	子どもの心身の発達と自然環境の関係述べる ことができる。	(予習)10月中旬頃の畑で栽培されている野菜を5つまとめる。 (復習)まとめのレポートの構成を考える。	90	傾聴力 発信力
8週 /	保育の方法・環境② 人的環境・物的環境とは何か、意味を理解する。	講義 ・グループ活動(グループ討議のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	乳幼児にとっての人的(大人)環境の根拠が分かり記述する。	(予習)保育所保育指針の環境の項目を事前に配布するので読み参加すること。 (復習)まとめのレポートの内容を考える。	90	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	保育所職員の専門性① 栄養士も保育者の一人であることを学修する。	講義 DVD視聴 1歳児 ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育所職員の専門性と倫理観、乳幼児のかかわりが分かり、記述することができる。	(予習)プリント⑤「幼児期に育つもの」を読んでおく。保育所保育指針の職員の専門性についての資料を配布するので読んでくる。(復習) DVD視聴でメモをとり、保育者の一人として関わり方を記述し提出する。	90	課題発見力
10週 /	保育所職員の専門性② 衛生面について確認する。	講義 ・グループ活動 前週の講義内容をフィードバックする。	感染症や食中毒など子どもへのわかり易い伝え方を工夫することができる。	(予習)感染症もしくは食中毒の種類を調べ、子どもへの語りかける際の原稿を作る。(復習)小テストをするので覚えてくる。	90	傾聴力 発信力
11週 /	保育所職員の専門性③ 食育、献立について意見交換する。	講義 小テスト グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	「楽しい食事とは」について意見交換、家庭での食事をイメージして参加することができる。2歳児のDVD視聴をする。	(予習)「楽しい食事」について考えをまとめ記述してくる。(復習)2歳児DVD視聴のメモをとり、保育者の一人として関わり方をノートに記述する。	90	傾聴力 発信力
12週 /	保護者に対する支援① 施設見学をする。	演習 ・グループ活動 観察記録提出。	「楽しい食事とは」を視点として給食を観察し考察できる。	プリント⑥・「施設の概要」を配布する。(予習)保育所における食事の提供の意義を調べる。(復習)「楽しい食事」にする為給食における望ましい人的・物的環境を考察しノートに記述する。	90	主体性 実行力
13週 /	保護者に対する支援② 父親・母親の保育責任を考える。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	子ども・子育て支援新制度について述べることができる。	プリント⑦・「子どもの発達課題と家庭教育のテーマ」(予習)プリントを読んでくる・保護者の保育責任についての記事・話題を探す。(復習)保護者支援の必要性をノートに記述する。	90	発信力 傾聴力
14週 /	諸外国の食事と保育 「20の国のごはん」の中から2～3の国の食事を調べてみる。	講義 グループ活動 報告文提出 ・前週の講義内容をフィードバックする。	食を中心に諸外国と日本の違いについて述べることができる。	(予習)2～3の国の食事を調べてくる。(復習)・学んだ事をふまえて提出レポートに取り組む。	90	課題発見力
15週 /	まとめ「乳幼児の食生活」についてレポートの仕上げをする。	講義 ・レポート作成 レポート提出 ・14週間の講義内容をフィードバックする。	「乳幼児の食生活」について解ったこと、考えたことなどを記述する。	(予習)ミニレポートの構成を考えておく。	90	主体性 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力